



## 平和を追求する者は【ナショナリスト】で【保守主義者】 —— 世界がもしも100人の村だったら (100村) 翻訳家・作者の 池田香代子さんを招いての「平和学習会」



講師の池田さんと  
参加者で記念撮影

12月10日、北斗市農村センターで開催された100村翻訳家・作者の池田香代子さんを招いての平和学習会（主催：渡島フォーラム・北教組渡島支部）に、加藤青年部長はじめ7人で参加してきました。

池田さんは、世界的な知友人との交流を織り交ぜ、なぜ平和が大切なのか、平和を追求しなければならないのかを講演。さらに100村の内容を読み上げ、医療、福祉、教育の大切さ、子どもを守ることはどういうことかを訴えていました。

そして、「原発をなくして日本の地域を守ろうと思っているあなたがたは真のナショナリスト。そして地域の伝統、芸能、風習などを守るために地域から立ち上がっているあなたがたは保守主義者です。これからも大間原発などを建設させず原発のない社会をつくるために運動を続けることはとても重要。」と話されていました。

会場からは「思想の自由を束縛するような橋下徹大阪市長が誕生する社会。じぶんたちはからだを丸めてやり過ごすしかないのか」という切実な質問が出され、それに対して「ナチスは当初、社会から相手にされなかったが、いつの間にか巨大勢力になって戦争を引き起こした。だから、間違ったことは間違っていると粘り強く言い続けることが必要。」とこたえ、会場の共感を呼んでいました。

100村は、アメリカのドネラ・メドウズという大学教授が世界をひとつの村にたとえて文章を作成し、インターネットでのチェーンメールとして世界中に広まっていったものです。日本では、池田香代子さんが翻訳・出版し、その後続編も発行し5部めの完結編で終了しています。また、池田さんは、これで得られた印税7000万円

余をすべて、日本在留の難民を支援するための活動資金や、アフガニスタン難民キャンプに女子中学校を設立するための基金、そしてパレスチナの水道タンクなど、平和的な活動やNGO/NPOへの寄付に投じました。

機会があったらぜひ100村を読み、世界の現状を新たに認識されてはいかがでしょうか。

## ひといー要求の職場集会は 12/27~29の三日間

ささいな疑問にもこたえます

先週末で集約は終わりましたが、急きょ出席できる、したいという方がいましたら、書記局落合書記までお申し出下さい。(tel: 2-4440 または 2-3131内線500)

新年度予算の編成を控え、福利厚生面などでの要求ができる貴重な機会です。皆さんのいろいろな声、思いをきかせて下さい。なお、教委では1月10日に開催予定です。

## 四淵初良さん長い間お疲れさまでした 地区連合定期総会で役員退任

12月14日、木古内地区連合の定期総会が開かれ、1年間の運動総括と方針が活発な議論のもと決定されました。



総括では、教育委員会の石川さんが、「平和行動in沖縄の旅」に参加しての感想などを報告。運動方針では、町議などと連携し、町への政策提言活動や全労済・ろうきんの周知活動を行うべきなどの質疑が交わられていました。また、来年は地区連合結成20周年のため、なんらかの行事を検討することも口頭提起されています。

終盤の役員選出では、初代地区連合会長であり現在も季節労代表として執行委員をつとめている四淵初良さんが退任されることとなり、あいさつに対して大きなねぎらいの拍手が巻き起こっていました。